

林業普及週間現地情報(10/4～10/26)

森林管理課

やんばる三村で松くい虫被害木調査方法を指導

10月27日(金)

10月4～25日にかけて、やんばる三村の森林病虫害担当の役場職員に対し、個別に松くい虫被害木調査方法を指導した。

当該地域においては、令和3年7月に世界遺産登録が決まり、これまで以上に森林資源の保全が期待されている。そのような中、松くい虫による被害は、現在も続いており、その被害状況の適格な調査と防除が重要となっている。

被害状況調査は、枯れているマツの本数を把握するだけでなく、被害木の大きさを計測するための毎木調査や被害木の枯損要因を把握するためのサンプル採取を行うことがある。しかし、これら調査は専門的な調査で新たに森林病虫害担当になった役場職員は、経験したことがない。そのため、これら調査方法について、道具の使い方も含め指導を行った。

今後も市町村と連携して、被害状況把握とその防除に取り組んでいきたい。



写真-1 サンプル採取の様子



写真-2 毎木調査指導の様子

(報告者：北部農林水産振興センター 今田・玉城・森田)